

教科	種目	意見書	発行者
社会	地図		東京書籍

	着眼点	意見
1	(1)資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」というコーナーがあり、児童が地図に興味関心をもちながら地図帳を使う技能や各地域の特色について理解できるよう工夫されている。 各単元で学ぶ社会的事象が、地図上でも名称やイラスト等で示されており、事象の空間的な広がりや具体的な特色をイメージすることができる。
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 日本や世界の郷土料理や民族衣装がイラストや写真で掲載されており、他教科との関連が図ることができるよう工夫されている。 「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」というコーナーでは、レベル別の問題が設定されており、学年や発達段階に応じて地図帳を活用して学ぶことができるよう工夫されている。
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」というコーナーでは、問いの答えを探しながら楽しく地図帳を読み取る活動が設定されており、主体的に学ぶ力を育むことができる。 「日本の自然」のページには、飛騨山脈を始めとする各地域の山の位置や高さが写真とともに示されており、山の様相についてより具体的に理解することができる。
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方の地図には、飛騨春慶、飛騨牛、飛騨山椒、ほうれんそう、トマトなどの岐阜県の特産物のイラストが掲載されており、地域に愛着をもって学ぶことができる。 「日本の伝統文化」のページには、郡上おどりや白川郷について掲載されており、地域で受け継がれてきた文化を知ることができる。
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードを読み取ると、「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」の答えとがんばりシートが入っており、児童が自ら学習を進めることができる。 「日本の歴史」のページの二次元コードには、主な歴史的事象に関する位置や様子が分かるようなコンテンツが収載されている。
	(3)多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の歴史」のページでは、日本がどのように世界と関わってきたのか地図で確認できるようになっているため、歴史学習においても地図帳を活用できるように工夫されている。 文化・産業など分野ごとに写真や分布図など様々な資料が豊富に掲載されており、授業で活用できる工夫がされている。
3	(1)教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> ページ数、大きさ、重量について、よく配慮されている。 発達段階を踏まえ、児童の負担にならない情報量となるよう配慮されており、適切な重量となっている。
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントが採用されており、すべての児童にとって読みやすい書体となっている。 地図上の地名や県庁所在地の文字が縁取りされており、他の情報と重なっても読み取りやすくなるよう配慮されている。
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の世界地図に国名が全て書かれている。 索引が日本と世界の国々に分けて示されている。 索引ページでは、県庁所在地が赤で示されている。

教科	種目	意見書	発行者
社会	地図		帝国書院

	着眼点	意見
1	(1)資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 「3年生の学習」ページが分かりやすくまとめられており、地図を活用するための基礎・基本の技能を身に付けることができるようよく工夫されている。 「広く見わたす地図」により、各都道府県の特徴を俯瞰しながら捉えることができ、47都道府県の名称と位置をより分かりやすく理解することができる。
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 社会科を学び始めた3年生が、地図に親しみをもって学ぶことができるよう「3年生の学習」というページがある。 「自動車産業のさかんな愛知県」というページで自動車関連工場が示されておりや岐阜県のページでは輪中の詳細図が掲載されており、学年の内容を特化できる地図となっている。
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 「地図マスターへの道」というコーナーがあり、主体的に学ぶ力を育むことができるようよく工夫された内容となっている。 「地図マスターへの道」には該当学年が示されており、各学年の学習を深めたり、発展的に学んだりすることができるようよく工夫されている。 各地図に示された「なんでも世界一」「世界遺産」は、興味をもって主体的に学べるようよく工夫されている。
2	(1)ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 中部地方の地図には、一位一刀彫や春慶塗などの伝統工芸や、ほうれんそう、トマトなどの農産物を取り上げられており、地域の特産物について学ぶことができる内容となっている。 「日本の自然の様子」のページには、飛騨山脈の位置や高さについて他地域と比較しながら学ぶことができる内容になっている。
	(2)ICTを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードには、各都道府県の地図やクイズが豊富に収載されている。 地球儀の使い方や防災マップの作り方などが動画コンテンツで紹介されており、学習内容を深めることができる。
	(3)多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 世界地図のページには、SDGsに関する写真や記述があり、各単元の学習とSDGsとを関連付けて学べるようよく工夫されている。 分布図や統計データなどがあり、課題解決や新聞づくりなどの様々な活動に活用することができるようよく工夫されている。
3	(1)教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 軽くて丈夫な地図専用用紙が使用されており、重量負担を軽減することができるようよく配慮がなされている。 ページ数、大きさ、重量について、よく配慮されている。
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 文字が大きく、3年生でも見やすい。 索引(地名)が5色で色分けされており、学習に活用しやすい。 地図上の地名や凡例、脚注にもふりがながついており、インクルーシブ教育への対応がよくなされている。
	(3)上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 地図上には、各地域の特産物や伝統文化、伝統工芸がイラストで紹介されており、地域の特色を視覚的に理解することができる。 目次の横に帯付けされている色と各ページの見出しの色がリンクしているため、探したいページを見つけやすい。